

## 款 9 消防費

## 項 1 消防費

## 目 1 常備消防費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,186,223,020 円	円	円	3,100,000 円	41,441,702 円	3,141,681,318 円

2 一般管理事業	予算現額 308,917,000 円
	事業決算額 292,328,411 円
	予算執行率 94.6 %

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理等を行うとともに、消防防災指導センターを運営し、市民の消防及び防災に関する知識の普及・啓発、訓練等に対する指導に努めた。

(1) 一般管理事業  
《 事業概要 》

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理等を行った。

《 事業評価 》

人材育成に伴う研修事業については、消防大学校及び県消防学校での専門的知識及び技術の習得を目的に48人の職員を派遣し、国・県等の他機関にも8人の長期派遣を行った。

また、内部研修については、高度救助隊研修、安全運転研修、予防研修を計画的に実施、各研修修了者によるフィードバック研修の実施、消防技能指導官制度による専門的な技能や知識を習得させる研修の実施を行うことにより人材育成を図ることができた。

被服の貸与については、防火衣の耐用年数による更新を行い現場活動における安全性の確保に努めることができた。

(2) 消防防災指導センター設置運営事業  
《 事業概要 》

市民の消防及び防災に関する知識、技術の習得と消防及び防災意識の向上を図るため、市民、事業所等が実施する訓練等に対する指導を行った。

訓練指導実施回数 320回  
訓練指導対象人数 20,153人

《 事業評価 》

訓練は、消火訓練（全体の約19%）とともに、避難訓練、心肺蘇生・AED取り扱い訓練（全体の約14%）が多く、市民の防火・防災、救急救命に対する意識の高まりに応えることができた。

担当 消防総務課  
警防室

3 救急救助事業	予算現額 37,511,000 円
	事業決算額 34,028,878 円
	予算執行率 90.7 %

《 事業概要 》

救急救助活動を行うとともに、必要な資機材の購入及び維持管理を行った。  
また、救急救命士の養成に関する事務や、隊員の資質向上のための救急事後検証会等を開催した。

区分	平成24年	平成23年	前年比増減
救急出動件数 (件)	13,849	13,066	783
救助出動件数 (件)	113	116	△ 3

### 《事業評価》

救急活動については、年間研修計画に基づき研修会等を実施し、救急隊員の救急技術の向上が図れた。今後も、研修会等を通して、救急隊員のレベルの向上と迅速、的確な救急活動が図れるよう努めていく。

また、救助活動については、高度救助隊発足に伴い高度救助用資機材を配備するなど、多種多様化する高度化した救助事案の強化訓練を実施するなど、計画的な資機材の更新を行い、救助活動の充実強化を図ることができた。

担当 救急課  
警防室

#### 4 火災活動事業

予算現額 19,806,000 円  
事業決算額 19,138,388 円  
予算執行率 96.6 %

### 《事業概要》

火災活動を行うとともに、必要な資機材の購入及び維持管理を行った。

また、県防災ヘリコプター運営協議会への負担を行った。

区分	平成24年	平成23年	前年比増減
火災出動件数 (件)	127	108	19
損害額 (千円)	299,968	246,020	53,948

### 《事業評価》

消防用ホース、空気呼吸器等の資機材を購入し、火災活動の充実強化を図ることができた。

担当 警防室

#### 款 9 消防費

#### 項 1 消防費

#### 目 2 非常備消防費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
296,277,214 円	448,000 円	円	円	38,850,843 円	256,978,371 円

#### 1 団運営事業

予算現額 322,493,000 円  
事業決算額 296,277,214 円  
予算執行率 91.9 %

消防団の運営及び消防団施設の維持管理を行い、火災活動等における地域の災害対応体制の向上に努めた。

##### (1) 団運営事業

### 《事業概要》

消防団員の報酬、費用弁償、被服の購入、資機材の整備等を行った。

また、県操法大会に向けた訓練を美里・白山方面団が実施し、全国女性消防操法大会に向けた訓練を美杉方面団が実施するとともに、可搬式消防ポンプ一式を購入した。

区分	対象人数(人)	報酬(円)
消防団員	2,188	65,679,803

### 《事業評価》

消防団の運営費として適正な処遇を保持し、被服の改良及び統一を図り、消防団員の士気高揚に努めるとともに、防火服一式及び消防ホース等の購入による装備品や資機材の充実を図り、地域消防力の向上に努めることができた。

また、県操法大会に出場したことにより、消防団員の基本的な操作の習得が図られたことと、平成25年10月に開催される全国女性消防操法大会に向けて、規律ある動作及び的確な命令等の訓練を引き続き実施していく。

### (2) 団施設運営事業

#### 《事業概要》

消防団活動に必要な詰所及び車両の維持管理を行った。

### 《事業評価》

消防団関係施設の維持管理を適切に行い、地域防災活動に寄与することができた。

担当 消防団統括室

### 款 9 消防費

### 項 1 消防費

### 目 3 消防施設費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
429,462,077 円	54,085,000 円	円	248,300,000 円	1,074,024 円	126,003,053 円

#### 1 消防施設維持管理事業

予算現額 99,736,000 円  
事業決算額 89,606,856 円  
予算執行率 89.8 %

#### 《事業概要》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、消防施設の耐震化及び消防車両の維持管理等を行った。

また、電波法の改正によりアナログ方式からデジタル方式への移行に伴い、消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター整備に係る実施設計業務を委託した。

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センター整備実施設計業務委託	久居明神町	消防救急無線のデジタル化・消防指令センター整備に係る設計	30,807,000

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
中消防署装備工場耐震補強工事	寿町	耐震補強工事	16,676,092
中消防署庁舎便所等改修工事	寿町	便所等改修	14,712,600

### 《事業評価》

消防施設の改修及び消防車両の維持管理等を適切に行うことで、消防力の充実強化につながり、住民サービスの向上を図ることができた。

特に、中消防署装備工場の耐震補強をすることで、消防施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

また、消防救急無線のデジタル化整備については、県域で整備する共通波に合わせて、活動波及び高機能消防指令センター整備を計画的に進め、効果的な運用が図れるよう調整していく。

担当 消防総務課

### 2 消防団施設維持管理事業

予算現額	20,999,000 円
事業決算額	18,315,592 円
予算執行率	87.2 %

### 《事業概要》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、消防団施設の耐震化及び消防団車両の維持管理等を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
美里方面団第一分団車庫新築・解体工事	美里町北長野	新築・解体工事	6,100,500
白山方面団第二分団車庫耐震補強工事	白山町川口	耐震補強工事	3,935,400

### 《事業評価》

消防団施設及び消防団車両の維持管理を行い、地域防災力の向上及び初動体制の確保を図ることができた。

特に、白山方面団第二分団車庫の耐震補強をすることで、消防施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

担当 消防団統括室

### 3 消防車両購入事業

予算現額	241,023,000 円
事業決算額	240,442,609 円
予算執行率	99.8 %

### 《事業概要》

消防力の向上、火災・救急活動の充実・強化を図るため、消防車両の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額(円)
救助工作車（Ⅲ型）の購入	久居消防署	1台	136,500,000
高規格救急自動車、高度救命用資機材の購入	西分署、一志分署	2台	53,555,250
水槽付消防ポンプ自動車の購入	北消防署、美杉分署	2台	42,735,000
指揮広報車の購入	白山消防署	1台	7,171,500

### 《事業評価》

消防車両を6台更新したことにより、火災等災害時に効果的な消火活動が強化されるとともに、増加する救急需要に円滑な対応を図ることができた。

特に、高度救助用器具を備えた救助工作車の配備に伴い、大規模災害に備え、より迅速な救助体制が図れるよう努めていく。

担当 消防総務課

4 消防水利整備事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	51,108,000 円 48,155,224 円 94.2 %
------------	------------------------	--

《 事業概要 》

消防水利を新設するとともに、既設消防水利の修繕等を実施した。

区分	箇所数	内容	金額（円）
消防水利の設置	7	消火栓の新設	6,422,025

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
平岩公園耐震性防火水槽設置工事	一志町井関	耐震性防火水槽（60m <sup>3</sup> 級）の新設	9,528,054
大塚児童公園耐震性防火水槽設置工事	安濃町大塚	耐震性防火水槽（60m <sup>3</sup> 級）の新設	8,504,951
家城幼稚園運動場跡耐震性防火水槽設置工事	白山町南家城	耐震性防火水槽（60m <sup>3</sup> 級）の新設	8,265,655

《 事業評価 》

消火栓7基及び耐震性防火水槽3基を新設し、消防水利の充実・強化を図ることができた。

担当 警防室

5 消防団車両購入事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	33,072,000 円 32,941,796 円 99.6 %
-------------	------------------------	--

《 事業概要 》

地域の消防力の向上、火災活動の充実・強化を図るため、消防団車両の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額（円）
小型動力ポンプ付積載車の購入	津方面団敬和分団・大里分団、香良洲方面団第1分団	3台	19,372,500
小型動力ポンプ付積載車（軽自動車）の購入	白山方面団第1分団、美杉方面団第2分団・第5分団	3台	13,356,000

《 事業評価 》

消防団車両を6台更新したことにより、火災等災害時に効果的な消火活動が強化されるなど、地域の消防力の向上を図ることができた。

担当 消防団統括室

## 款 9 消防費

## 項 1 消防費

## 目 4 水防費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,055,198 円	円	円	円	円	1,055,198 円

## 1 水防訓練事業

予算現額 1,153,000 円  
 事業決算額 1,055,198 円  
 予算執行率 91.5 %

## 《事業概要》

水害時の防災対応力を強化し、水害に強いまちづくりを進めるため、各地域の実情に応じた水防訓練を実施した。

なお、白山地域の水防訓練においては、天候不順により中止した。

地域	実施日	実施場所	内容	参加人数(人)
津	5月13日	メッセウイング・みえ	積み土のう工法	423
久居	7月8日	雲出川緑地公園	改良積み土のう工法・月の輪工法	276
河芸	7月1日	河芸庁舎	改良積み土のう工法	115
芸濃	7月22日	芸濃庁舎	積み土のう工法・月の輪工法	162
美里	6月10日	美里庁舎	改良積み土のう工法・都市型水防工法	49
安濃	7月8日	安濃総合グラウンド	積み土のう工法・月の輪工法	67
香良洲	6月3日	香良洲漁港東海岸	積み土のう工法・釜段工法	153
一志	6月24日	高岡幼稚園	積み土のう工法・せき板工法	146
美杉	5月29日	フットパーク美杉	積み土のう工法	125

## 《事業評価》

平成22年度から分散型の水防工法訓練を実施するようになって、各地域ごとの実情に応じた訓練を実施することができ、多数の参加者に水防工法の知識・技術の啓発を図ることができた。

担当 警防室

## 款 10 教育費

## 項 1 教育総務費

## 目 1 教育委員会費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,000,345 円	円	円	円	円	5,000,345 円

## 1 教育委員会関係事業

予算現額	5,293,000 円
事業決算額	5,000,345 円
予算執行率	94.5 %

## 《 事業概要 》

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の長から独立した行政委員会として設置され、教育長を含め、5人の委員で組織されている。

平成24年度は、教育委員会会議を26回開催した。

区分	※人数 (人)	報酬 (円)
委員長	1	1,224,000
委員	3	2,635,795

※教育長を除く

## 《 事業評価 》

教育委員会会議を定例的に開催するとともに、突発的な事案に対しては随時、臨時会を開催することにより、円滑な課題解決を図ることができた。

担当 教育総務課

## 款 10 教育費

## 項 1 教育総務費

## 目 2 事務局費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,019,470,069 円	4,000 円	1,000 円	円	102,900 円	1,019,362,169 円

## 2 事務局管理事業

予算現額	186,500,000 円
事業決算額	181,035,080 円
予算執行率	97.1 %

## 《 事業概要 》

教育委員会事務局の事務経費の適正な執行管理を行った。

学校運営協議会を南が丘小学校、朝陽中学校に設置し、学校運営方針の承認、評価、支援を行い、地域に信頼される学校づくりを行った。

区分	回数 (回)	報酬 (円)
学校運営協議会	6	594,000

## 《事業評価》

事務経費の適正な執行管理を行うことができた。

南が丘小学校においては、学校運営協議会からの「提言」において示された課題を、学校はどのように教育活動や学校運営に活かしていくかについて、年度当初に学校全体で協議し、年間を通じて組織的に取り組み、学校運営の改善を図ることができた。

また、朝陽中学校においては、年3回の会議を開催し、学校運営方針の承認、学校運営協議会による学校評価などを行うとともに、委員による学校参観を実施し、生徒や学校の状態をより理解することができた。

今後は、地域とともにあるコミュニティ・スクールの取組を参考に学校支援システムが拡大するように努めていく。

担当 教育総務課  
学校教育課  
教育研究支援課

款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育振興費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
555,752,205 円	47,200,000 円	18,737,087 円	14,600,000 円	8,001,570 円	467,213,548 円

### 1 教育振興事務事業

予算現額 46,424,000 円  
事業決算額 44,496,099 円  
予算執行率 95.8 %

#### 《事業概要》

市学校教育ネットワークでは、データセンターへサーバをハウジングし、厳重なデータ管理を行うとともに、専門業者による定期的な保守点検を実施することで、ネットワーク専用回線の安定した運用を図った。

私立高等学校等の教育条件の維持、向上を図り学校の経営健全化に資するとともに、保護者の教育費の負担軽減を図るため、私学振興補助を行った。

中学校部活動振興のための中学校体育連盟、吹奏楽連盟への負担等のほか、クラブ振興、選手派遣にかかる補助を行った。

また、市内各小中学校の特別支援教育の推進、発達に障がいのある児童生徒の支援等を行う県特別支援教育研究会津ブロックへの補助を行った。

区分	金額(円)
市学校教育ネットワークの運用・管理	27,204,150
中学校体育連盟選手派遣補助金	5,989,679
中学校体育連盟負担金	3,646,760
私学振興補助金	3,548,000
クラブ振興補助金	3,400,000
県特別支援教育研究会津ブロック補助金	380,000
吹奏楽連盟加入負担金	153,000

### 《事業評価》

市学校教育ネットワークでは、大規模な障害が発生することではなく、安定的な運用をすることができた。

市内及び隣接市の私立高等学校等に補助金を交付したことにより、教育の振興、設備の充実を図ることができた。

中学校の部活動の振興を図ることができた。

特別支援学級の児童生徒が仲間とともに活動に取り組み、喜びを味わうなど人と人とのふれあい体験や社会性の育成を図ることができた。

担当 教育総務課  
教育研究支援課

### 2 通学通園対策事業

予算現額	53,034,000 円
事業決算額	51,669,485 円
予算執行率	97.4 %

学校統廃合等により、通学が遠距離となった児童、生徒、園児と保護者の負担を軽減し、教育の機会均等と円滑な運営、通学時の安全確保のため、通学距離が遠距離である児童生徒の保護者に対し、遠距離通学費補助金の支給及びスクールバス、園児バスの運行を行った。

#### (1) 遠距離通学補助事業

##### 《事業概要》

通学距離が遠距離である児童生徒の保護者負担を軽減するため、遠距離通学費補助金を支給した。

地域	内容	対象人数(人)	金額(円)
久居	通学バス定期代補助	26	1,208,000
一志	通学用自転車購入代補助	8	200,000
白山	コミュニティバス代補助、通学用自転車購入代補助ほか	6	217,900

##### 《事業評価》

通学区域の広さや過去の学校統廃合による地域ごとの状況も異なっており、地域に応じた通学の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。

#### (2) スクール（通園）バス等運行事業

##### 《事業概要》

学校、園の統廃合により遠距離となった、児童生徒、園児の通学通園手段の確保を図ることを目的として、小中学校では、美杉小学校、美杉中学校、芸濃小学校のスクールバスの運行、幼稚園では、一定の保護者負担を求めた上で白山地域での通園バスの運行、美里コミュニティバスの利用による通園バスの運行を行った。

##### 《事業評価》

学校統廃合等により、通学距離が遠距離となった児童生徒、園児の通学通園の安全確保と保護者の負担軽減を図ることができた。

担当 学校教育課

3	健康教育推進事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	2,376,000 円 2,349,034 円 98.9 %
---	----------	------------------------	--------------------------------------

#### 《 事業概要 》

子どもたちの健康課題について、子どもたちが自ら主体的に解決できるよう小中学校、幼稚園において発達段階に応じた健康教育の指導の充実を図った。

食育を推進するため専門家や家庭、地域が一体となった取組を行うなか、アレルギー疾患のある子どもたちへの理解を深めるよう努めた。

#### 《 事業評価 》

学校保健の中核となる教職員（管理職、保健主事、養護教諭）を学校保健研究大会等に派遣し、教職員の資質の向上を図ることができた。

市民及び教職員を対象とした健康教育研修会を開催し、子どもの健康課題解決のための連携を深めることができた。

学校給食衛生管理基準に基づく献立作成委員会を設置し、適正な学校給食の運営を図るとともに学校給食を教材とした食育を推進することができた。

担当 学校教育課

4	教育総合支援事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	403,359,000 円 396,962,722 円 98.4 %
---	----------	------------------------	--

非常勤講師（「生きる力」育成サポーター）や外国語指導助手、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー等相談員の配置を行った。

非常勤講師の配置により、きめ細かな指導、個に応じた指導の充実を行うことができた。

#### (1) 輝きプロジェクト事業(輝く学校づくり推進事業)の充実

##### 《 事業概要 》

子どもたちの「学ぶ力」の育成をめざし、子どもたちや地域の特性を生かしながら、学校・園の主体的かつ独自性のある取組を支援する学校提案型事業を行った。

##### 《 事業評価 》

校内研究、キャリア教育の充実等、10のテーマを設け、40小中学校及び23幼稚園でそれぞれの特色を生かし、子どもたちの豊かな学びの育成を図ることができた。

また、行政情報番組で紹介することで、保護者や地域住民への関心を高めることができた。さらに、事業実践交流会を行うことで、各学校、園での取組を充実させることができた。

#### (2) 非常勤講師（「生きる力」育成サポーター）の配置

##### 《 事業概要 》

学校が特色ある教育活動を行うため、少人数教育や教科担任制の導入、複式学級を有する学校への支援をはじめ、外国人児童生徒に対する教育など学校からのニーズに応えるための非常勤講師の配置を行い、わかる授業の創造と豊かな心の育成に向けた学校の取組を支援した。

##### 《 事業評価 》

非常勤講師が配置された学校においては、一人ひとりの児童生徒にきめ細かな指導を行うことができた。

しかし、学校からのニーズは年々増加していることから、今後も適正な配置に努め、学校の要望に応えていく。

### (3) 外国語指導助手(ALT)の配置 《事業概要》

中学校へALTを派遣し、英語科の授業においてチームティーチングを実施することで、英語による実践的なコミュニケーション能力を育成した。

また、小学校へALTを派遣し、外国語活動等の時間において互いに思いを伝え合い、コミュニケーションの楽しさを体験する活動や英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ活動等を行い、コミュニケーション能力の素地を育成した。

さらに、年間3日間、小学生対象の英語セミナー「LET'S ENJOY ENGLISH!」を開催し、児童が英語の歌や、ゲームなどを通して、英語に慣れ親しむ活動を実施した。

区分	配置人数(人)	金額(円)
外国語指導助手	JET	10
	NON-JET	10
	小学校英語指導助手	1

#### 《事業評価》

外国語指導助手を各校・園で効果的に活用することにより、子どもたちのコミュニケーション能力を含めた英語力の向上及び外国の文化に慣れ親しみ、豊かな国際感覚を養う等の効果をあげることができた。

### (4) 特別支援教育支援員の配置 《事業概要》

特別支援教育支援員を小中学校に101人、幼稚園に23人配置し、特別な配慮を必要とする児童生徒、園児の支援を行った。

#### 《事業評価》

障がいの重度化、重複化、多様化など、個別の支援を必要とする児童生徒及び園児が増加し、特別支援教育支援員の増員が課題となっているなか、実態に応じた支援員の配置に努め、子どもたちの生活面でのサポートを行うことができた。

### (5) スクールカウンセラー、スマイルハートサポーターの配置 《事業概要》

生徒指導上の課題及び、学校生活への不適応やストレス、悩み等の課題をもつ児童生徒等への相談体制の充実を図るため、高度な専門的な知識、経験を有する「スクールカウンセラー」や第三者的な存在となり得る「スマイルハートサポーター」を必要度の高い小中学校に配置した。

#### 《事業評価》

学校生活への不適応やストレス、悩み等の課題を持つ児童生徒等への相談活動により、指導上の課題の早期発見、早期対応を図ることができた。

### (6) 学校図書館いきいき推進事業 《事業概要》

全中学校区に19人の司書資格を有する学校図書館司書を配置し、校区内の小学校に巡回することにより、小学校と中学校の連携を図り、読書活動を通して子どもたちの豊かな心の育成を図った。

また、全小中学校に学校図書館情報システムを導入し、子どもたちが活用しやすい図書館の環境整備を図った。

### 《事業評価》

学校図書館司書の配置により、各校の図書館ボランティアと連携し、学校図書館の環境整備や読書指導の充実が図られ、子どもたちの読書意欲の向上につながった。

また、公共図書館や三重短期大学附属図書館、三重大学附属図書館と連携した研修講座等の開催により、教職員や学校図書館司書、ボランティア等の資質向上にもつながった。

さらに、学校図書館情報システム導入により、子どもたちが調べたい、見つけたい本が簡単に検索できるようになるなど、図書館資料を活用した学習や読書活動の充実を図ることができた。

担当 教育研究支援課

### 5 教育研究推進事業

予算現額	10,284,000 円
事業決算額	9,438,158 円
予算執行率	91.8 %

生きる力の連続した育成を図ることを目的とした保幼小中連携を行うほか、キャリア教育、国際理解教育の推進、全国学力・学習状況調査を活用した研究を行った。

また、その研究成果を報告会や発表会、研究報告集等により、全ての保育所、幼稚園、小中学校に伝えることができた。

#### (1) 教育研究推進事業

保幼小中連携事業、実社会との関連を重視したキャリア教育を推進することにより、社会のニーズに応じた教育、将来を見通し子どもたちの成長をきめ細かく支援する教育を進めることができた。

##### ア 全国学力・学習状況調査活用事業(輝きプロジェクト)

###### 《事業概要》

文部科学省による全国学力・学習状況調査は抽出調査であったため、抽出校以外の学校も併せて市内全小中学校で調査を行った。市全体の集計結果をもとに結果分析説明会を開催し、各校の取組の検証や授業改善を促した。

### 《事業評価》

全国学力・学習状況調査を市内全小中学校で行ったことにより、市全体の課題や施策の検証ができた。

また、結果分析説明会を開催し、課題分析の観点を示したり、輝きプロジェクトでの学力向上の取組や地域連携等、特色ある教育活動の実践例を発表したりすることで、各校での検証及び授業改善につなげることができた。

##### イ 保幼小中「生きる力」育成ネットワーク事業

###### 《事業概要》

子どもたちの生きる力の連続した育成を図るため、各中学校区において保育所、幼稚園、小中学校の教職員間の相互理解を深め、学習指導や生徒指導等各校区の課題に応じた子どもや教職員の交流を進めた。

### 《事業評価》

全ての中学校区において、子どもたちの基礎基本の定着や豊かな心、健やかな身体を育むために、各中学校区のめざす子ども像を明らかにするとともに、その実現に向けて私立、公立の保育所、幼稚園、小中学校との連携事業を推進することができた。

##### ウ 小学校英語活動ボランティア事業

###### 《事業概要》

小学校における外国語活動等の時間で、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成を図るために、小学校英語活動ボランティアの募集・登録を行い事業を進めた。

### 《事業評価》

小学校英語活動ボランティアが学級担任及び外国語指導助手との授業打ち合わせの補助、外国語活動の授業の補助及び外国語活動に使う教材づくりの補助を行ったことにより、外国語活動の内容及び指導の充実を図ることができた。

### (2) キャリア教育推進事業

#### 《事業概要》

児童生徒が、望ましい勤労観・職業観や主体的に進路を選択する能力・態度を身に付け、将来、自立した社会人として積極的に社会参加できるよう、地域内において、小学校、中学校が、家庭、地域、企業、関係団体等との連携を図りながら、各学校の発達段階に応じた系統的なキャリア教育を推進した。

#### 《事業評価》

各校で作成したキャリア教育全体計画に基づき、自立した人づくりをめざす取組を進めてきたほか、キャリア教育に関する学習プログラムや指導方法を研究することにより、教師の指導力の向上を図ることができた。

また、地域や関係機関との連携のもとで多くの体験活動を実施することができた。

担当 教育研究支援課

### 6 人権教育関係事業

予算現額	37,314,000 円
事業決算額	36,281,912 円
予算執行率	97.2 %

#### 《事業概要》

子どもの発達段階に応じ、人権に関する知識理解と豊かな人権感覚を育むため、全ての中学校区で子ども人権フォーラムを実施するとともに、中学校区における各園、学校の連携、情報交換及び実践交流を行った。

また、人権教育を積極的に推進している市人権・同和教育研究協議会に研究活動を効率的・効果的に展開していくために補助金を交付した。

外国人児童生徒に関しては、初期日本語教室「きずな」を立ち上げるなど、初期日本語の指導の充実と進路保障に向けた事業を展開した。

市人権教育推進協議会委託料 1,400千円  
市人権・同和教育研究協議会補助金 6,200千円

#### 《事業評価》

全ての中学校区で、それぞれの課題に応じた子ども人権フォーラムを開催したことにより、各園・学校の連携強化を図ることができた。

市人権・同和教育研究協議会が実施した実践交流会や地域課題に応じた事業活動には、地域住民や児童生徒及び教職員が積極的に参加し、人権教育を推進することができた。

また、初期日本語教室「きずな」の立ち上げとともに、初期日本語カリキュラムを完成させたことにより、日本語教育の推進を各小中学校で図ることができた。

担当 人権教育課

### 7 緊急雇用創出基金事業

予算現額	15,092,000 円
事業決算額	14,554,795 円
予算執行率	96.4 %

#### 《事業概要》

小中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に、毎日の生活や学習に安心して参加できるよう、特別支援教育支援員を小学校に7人、中学校に3人配置した。

### 《事業評価》

特別な支援を必要とする児童生徒数の増加に伴い、特別支援教育支援員を必要とする各小中学校に配置することができた。

担当 教育研究支援課

款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 4 教育研究所費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他の	一般財源
40,414,320円	円	84,000円	円	円	40,330,320円

2 教育研究所管理運営事業 予算現額 14,116,000円  
事業決算額 13,337,646円  
予算執行率 94.5%

学校教育をはじめとする教育行政の推進を図るために総合的な調査研究を実施するとともに、教職員の資質向上を図るために研修会等の企画・運営、研究活動の支援、情報提供を行った。  
また、教育相談事業の充実を図った。

#### (1) 教育相談事業

##### 《事業概要》

市内在住の児童生徒、園児及びその保護者、教育関係者などを対象に、来所、電話による相談を実施した。

また、来所、電話による相談件数は、3,362件であった。

##### 《事業評価》

教育相談を実施することで、幼児、児童、生徒の個々のケースに応じた支援を行うことができた。

#### (2) 教育活動指導研究事業

##### 《事業概要》

教科指導や教育全般にわたった専門的研究をはじめ、各種展覧会等、児童生徒、園児の意欲を高める取組を、小中学校、幼稚園の教職員自らが主体的に行う市教育研究会において事業の推進を図った。

##### 《事業評価》

教育研究大会、一斉部会(年4回)、部会・班会等(計95回)、各種展覧会等(音楽会4回、教育科学展、社会科展、美術展、図工展、書初め展、給食展)を実施することにより、教員の専門性の向上を図るだけでなく、子どもたちの学習成果を発表する機会をもつことができた。

#### (3) 教職員研修会

##### 《事業概要》

放課後の時間帯や夏季休業期間を利用して、教職員の資質や教養及び能力の向上、教職員のニーズ等に応じた専門的知識・技能の習得を図るため、体系化した研修会を企画、実施した。夏季休業期間中は、41の講座を開き、およそ2,100人の参加があった。

### 《事業評価》

教職員のニーズに沿った内容で、確かな実践と専門性をもった講師を招いての研修会を実施し、研修に対する教職員の意欲を高め、教職員の専門性を培うことができた。

今後、これら研修会で得たことを生かして、園内研修・校内研修の充実をさらに図っていく必要がある。

担当 教育研究支援課

### 3 教育支援センター事業

予算現額	7,846,000 円
事業決算額	7,492,355 円
予算執行率	95.5 %

### 《事業概要》

不登校児童生徒の学校復帰、社会的自立をめざした適応指導、相談、支援を実施するとともに、不登校児童生徒等によりきめ細かな支援を行うため、教育支援センター（適応指導教室）を中心とする学校、家庭、関係機関とのサポートネットワークの整備を図った。

不登校理解の観点から、市内小中学校教職員を対象に不登校児童生徒支援懇談会を実施した。

また、アドバイザー事業等（医師などの専門家からアドバイスを受ける）、福祉、医療機関との連携を図った。

### 《事業評価》

教育支援センターへの通室生に対して、自立体験活動（木工、陶芸、野外活動等）、交流体験学習の実施及びメンタルフレンド（近隣の大学生等）との交流等を行い、対人関係の改善への取組を進めることができた。

今後も、保護者の送迎以外に通室方法のない不登校児童生徒や、ひきこもりがちな子どもへの支援として、メンタルチューター派遣事業の充実に取り組んでいく。

担当 教育研究支援課

### 款 10 教育費

### 項 1 教育総務費

### 目 5 給食センター費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その 他	一般財源
314,380,933 円	円	円	円	52,767,041 円	261,613,892 円

### 2 給食センター管理運営事業

予算現額	265,965,000 円
事業決算額	251,602,797 円
予算執行率	94.6 %

### 《事業概要》

学校教育活動の一環として、学校給食法に基づき、香良洲、一志学校給食センター及び中央学校給食センターの円滑な運営に努め、また、地産地消の推進を図り、安全安心で栄養バランスの取れた給食を提供した。

区分	配食対象校	配食数（食分）
中央学校給食センター	中学校11校	5,150
香良洲学校給食センター	小学校 1校	430
	中学校 1校	
一志学校給食センター	小学校 4校	1,660
	中学校 1校	
	幼稚園 3園	

### 《事業評価》

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、児童生徒、園児の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図ることができた。

担当 学校教育課

款 10 教育費

項 2 小学校費

目 1 学校管理費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,532,764,222 円	158,838,000 円	46,882,000 円	486,100,000 円	75,345,274 円	1,765,598,948 円

2 学校職員関係事業

予算現額 585,000 円  
事業決算額 390,452 円  
予算執行率 66.7 %

### 《事業概要》

児童の社会的視野を広め、生きた学習を行うことを目的とする修学旅行等の事業計画を安全かつ効果的に実施できるように引率指導することを目的に、引率補助金を支給した。

なお、執行率が66.7%となった主な要因は、校外活動の行き先変更に伴い、補助金に不執行が生じたことによる。

### 《事業評価》

修学旅行、校外活動に係る費用で、施設見学料などについて補助金を支給したことにより、安 全で効果的な引率事業が可能となり、各学校が様々な活動を行うことで児童の体験学習に役立てることができた。

担当 学校教育課

3 学校管理運営事業

予算現額 730,038,381 円  
事業決算額 682,528,054 円  
予算執行率 93.5 %

### 《事業概要》

小学校における教育の機会均等を保障し、教育水準の維持向上を図ることを基本に、適正かつ円滑な管理運営に努めた。

また、猛暑対策として扇風機を1,666台設置するとともに、自然災害発生時の児童の安全確保と被害の軽減を図るために、非常用発電機や照明器具、簡易トイレ等を配備した。

### 《事業評価》

小学校における教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な学校の管理運営を行うことができた。

また、全ての小学校に防災機器を配備することで、防災機能の強化を図ることができた。

担当 教育総務課  
学校教育課

4	学校施設維持補修事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	916,009,000 円 909,463,278 円 99.3 %
---	------------	------------------------	--

#### 《 事業概要 》

法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕及び補修工事等を実施した。

また、大規模改造工事や屋内運動場の窓ガラス等飛散防止フィルムの貼付業務を実施した。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
高岡小学校改修工事等に係る設計業務委託	一志町田尻	改修工事等に係る設計	7,757,400
片田小学校ほか3校便所改修工事等に係る設計業務委託	片田井戸町ほか	便所改修工事等に係る設計	4,343,850
西が丘小学校ほか8校空調設備設置工事に係る設計業務委託	長岡町ほか	図書室等空調設備設置工事に係る設計	1,291,500

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
神戸小学校大規模改造（第一期）工事	神戸	管理棟、普通教室棟改修	387,208,500
白塚小学校大規模改造（第一期）工事	白塚町	普通教室、特別教室棟改修	299,683,650
修成小学校ほか5校空調設備設置工事	修成町ほか	パソコン室、図書室空調設備設置	18,490,500
南が丘小学校中庭改修工事	垂水	人工芝 675m <sup>2</sup> 貼付	10,250,956
新町小学校給食室給湯設備等改修工事	八町三丁目	給湯器取替 2台	6,510,000
南が丘小学校給食室給湯設備改修工事	垂水	給湯器取替 3台	5,182,800
敬和小学校防火戸改修工事	中河原	防火戸改修	2,247,000
美杉小学校ガス管改修工事	美杉町奥津	ガス管改修	1,155,000

#### 《 事業評価 》

学校施設の維持管理を適切に行うことで、教育環境の改善、学校教育の円滑な実施に資するとともに、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

担当 教育総務課

5	学校保健管理事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	140,254,021 円 135,152,662 円 96.4 %
---	----------	------------------------	--

#### 《 事業概要 》

学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務、就学時健康診断を行った。

また、児童にとって安全な環境を整えるため、学校環境衛生基準に則した管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給した。

《事業評価》

学校保健安全法に基づき、児童及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務、就学時健康診断を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができた。

学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な学校の体制づくりを図ることができた。

また、インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、学校における感染の予防と拡大防止に努めることができた。

担当 学校教育課

6 学校給食事業

予算現額	88,382,000 円
事業決算額	84,490,792 円
予算執行率	95.6 %

《事業概要》

学校教育活動の一環として、学校給食法に基づき、学校給食を円滑に運営し、安全安心で栄養バランスの取れた給食を提供した。

《事業評価》

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、児童の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図ることができた。

担当 学校教育課

款 10 教育費

項 2 小学校費

目 2 教育振興費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
429,022,555 円	3,944,000 円	681,000 円	円	円	424,397,555 円

1 就学援助事業

予算現額	103,620,000 円
事業決算額	100,418,757 円
予算執行率	96.9 %

《事業概要》

学校教育法の規定に基づき、児童の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図るために、義務教育に必要な経費の負担が困難な児童の保護者に必要な援助を行った。

区分	就学援助費		特別支援教育就学奨励費		合計	
	人数	支給額	人数	支給額	人数	支給額
学用品費	人	円	人	円	人	円
通学用品費	1,546	18,645,360	188	1,172,625	1,734	19,817,985
学校給食費	1,545	62,720,350	170	3,643,232	1,715	66,363,582
修学旅行費	308	6,650,869	30	329,774	338	6,980,643
校外活動費	1,311	1,564,208	163	105,036	1,474	1,669,244
医療費	132	944,423			132	944,423
新入学用品費	177	3,522,300	24	238,800	201	3,761,100
通学費			76	881,780	76	881,780
合計		94,047,510		6,371,247		100,418,757

### 《事業評価》

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者や、特別支援教育を受ける保護者に対し、学校で必要な費用の援助を行うことにより、保護者の経済的負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができた。

担当 学校教育課

2 教育指導活動支援事業	予算現額 326,337,000 円 事業決算額 320,889,178 円 予算執行率 98.3 %
--------------	---

### 《事業概要》

小学校における教科指導や教育活動を充実させるため、指導用教科書や指導資料等の購入、教材用備品や体育用具、新設特別支援学級用備品等、教育環境の整備を行った。

また、学校図書館用図書の充実を図ったほか、安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度にも考慮しつつ、学校の校庭遊具や屋外体育用具の更新・整備を行った。

区分	購入品	金額（円）
教材用備品	教材提示装置、楽器等	29,315,306
教科書	教師用教科書、指導書、副読本等	28,459,272
学校図書館用図書	ぼくがきようりゅうだったとき等	19,493,214
校庭遊具及び屋外体育用具	すべり台、ブランコ、鉄棒等	13,888,825
理科教育用備品	大型振り子実験器、顕微鏡等	3,292,548
新設特別支援学級用備品	階段昇降車、折り畳み式昇降テーブル等	2,566,535

### 《事業評価》

児童の学力向上や学習の推進に資するための環境整備として、学校事業運営に要する消耗品や備品等の購入、また、授業用パソコンを効果的に活用することで教科指導の一層の充実を図ることができた。

また、学校図書館における図書を充実することにより、児童の読書機会を確保するとともに、読書意欲の向上につなげることができた。

担当 教育総務課  
教育研究支援課

3 教育研究推進事業	予算現額 6,634,000 円 事業決算額 6,604,500 円 予算執行率 99.6 %
------------	---

### 《事業概要》

小学校での地域のよさを生かした学習活動や地域と連携した学校行事等の充実を支援するため、特色ある学校づくりの取組を推進した。

### 《事業評価》

各小学校では、地域の教育力を活かし、地域の文化や産業にかかる学習活動を行い、地域の方や保護者から信頼を得るとともに、報道等にも多数取り上げられ、特色ある学校づくりの一層の推進を図ることができた。

担当 教育研究支援課

4	人権教育推進事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	1,187,000 円 1,110,120 円 93.5 %
---	----------	------------------------	--------------------------------------

#### 《 事業概要 》

小学校での総合的な学習の時間等において、出会い学習を実施し、児童の人権意識の高揚を図った。

また、小学校4校で、子どもへの暴力防止セミナーを実施した。

#### 《 事業評価 》

全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や生き方などについての学習を深めたりすることができた。さらに入権集会などを通して保護者や地域の方へ発信したりして、学びを共有し実践力を高めることができた。

また、子どもへの暴力防止セミナーを通して、自他の権利を守ることについて学ぶことができた。

担当 人権教育課

款 10 教育費 項 3 中学校費 目 1 学校管理費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,039,308,943 円	91,135,000 円		円 200,800,000 円	44,069,935 円	703,304,008 円

2	学校職員関係事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	1,487,000 円 1,378,354 円 92.7 %
---	----------	------------------------	--------------------------------------

#### 《 事業概要 》

生徒の社会的視野を広め、生きた学習を行うことを目的とする修学旅行等の事業計画を安全かつ効果的に実施できるように引率指導することを目的に、引率補助金を支給した。

#### 《 事業評価 》

修学旅行、校外活動に係る費用で、施設見学料などについて補助金を支給したことにより、安全で効果的な引率事業が可能となり、各学校が様々な活動を行うことで生徒の体験学習に役立つことができた。

担当 学校教育課

3	学校管理運営事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	261,445,153 円 245,586,843 円 93.9 %
---	----------	------------------------	--

#### 《 事業概要 》

中学校における教育の機会均等を保障し、教育水準の維持向上を図ることを基本に、適正かつ円滑な管理運営に努めた。

また、猛暑対策として扇風機を685台設置した。

#### 《 事業評価 》

中学校における教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な学校の管理運営を行うことができた。

担当 教育総務課  
学校教育課

4	学校施設維持補修事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	498,134,000 円 495,277,514 円 99.4 %
---	------------	------------------------	--

#### 《事業概要》

法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕及び補修工事等を実施した。

また、大規模改造工事や便所改修工事、屋内運動場の窓ガラス等飛散防止フィルムの貼付業務を実施した。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
久居東中学校増築工事等に係る設計業務委託	久居井戸山町	増築工事等に係る設計	14,799,750
橋北中学校ほか11校空調設備設置工事に係る設計業務委託	桜橋二丁目ほか	図書室空調設備設置工事に係る設計	2,005,500
西橋内中学校便所改修工事に係る設計業務委託	東古河町	便所改修工事に係る設計	768,600

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
一身田中学校大規模改造（第一期）工事	一身田中野	普通教室棟改修	178,332,000
朝陽中学校便所改修工事	河芸町上野	便所改修	60,680,310
東観中学校便所改修工事	安濃町東觀音寺	便所改修	47,059,950
白山中学校浄化槽改修工事	白山町川口	合併浄化槽改修	24,824,100
橋南中学校ほか5校図書室空調設備設置工事	上弁財町津興ほか	図書室空調設備設置	18,931,500
橋北中学校消防用設備等改修工事	桜橋二丁目	消火管改修	17,832,664
香海中学校屋内運動場外部階段設置工事	香良洲町	外付階段設置 2箇所 屋上フェンス設置 2箇所	17,189,495
一志中学校放送設備改修工事	一志町高野	放送設備改修	17,136,000
橋南中学校特別教室棟解体その他工事	上弁財町津興	特別教室棟解体	9,795,450
芸濃中学校公共下水道管接続工事	芸濃町棕本	公共下水道接続	2,341,500

#### 《事業評価》

学校施設の維持管理を適切に行うことで、教育環境の改善、学校教育の円滑な実施に資するとともに、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

担当 教育総務課

5	学校保健管理事業	予算現額	60,134,650 円
		事業決算額	56,878,489 円
		予算執行率	94.6 %

#### 《 事業概要 》

学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行った。また、生徒にとって安全な環境を整えるため、学校環境衛生基準に則した管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給した。

#### 《 事業評価 》

学校保健安全法に基づき、生徒及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができた。

学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な学校の体制づくりを図ることができた。

また、インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、学校における感染の予防と拡大防止に努めることができた。

担当 学校教育課

6	学校給食事業	予算現額	18,705,000 円
		事業決算額	17,473,098 円
		予算執行率	93.4 %

#### 《 事業概要 》

学校教育活動の一環として、学校給食法に基づき、学校給食を円滑に運営し、安全安心で栄養バランスの取れた給食を提供した。

#### 《 事業評価 》

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、生徒の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図ることができた。

担当 学校教育課

款 10 教育費 項 3 中学校費 目 2 教育振興費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
320,371,848 円	2,395,000 円	円	円	円	317,976,848 円

1	就学援助事業	予算現額	97,542,000 円
		事業決算額	94,998,013 円
		予算執行率	97.4 %

#### 《 事業概要 》

学校教育法の規定に基づき、生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施を図るために、義務教育に必要な経費の負担が困難な生徒の保護者に必要な援助を行った。

区分	就学援助費		特別支援教育就学奨励費		合計	
	人数	支給額	人数	支給額	人数	支給額
学用品費	人	円	人	円	人	円
通学用品費	943	20,889,880	73	821,770	1,016	21,711,650
学校給食費	936	43,321,870	57	1,404,625	993	44,726,495
修学旅行費	320	19,183,830	20	590,157	340	19,773,987
校外活動費	776	1,783,375	60	76,851	836	1,860,226
医療費	50	437,045			50	437,045
新入学用品費	259	5,931,100	29	332,050	288	6,263,150
通学費			9	225,460	9	225,460
合計		91,547,100		3,450,913		94,998,013

### 《事業評価》

経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者や、特別支援教育を受ける保護者に対し、学校で必要な費用の援助を行うことにより、保護者の経済的負担を減らし、義務教育の円滑な実施を行うことができた。

担当 学校教育課

2 教育指導活動支援事業	予算現額 225,474,000 円 事業決算額 221,073,721 円 予算執行率 98.0 %
--------------	---

### 《事業概要》

中学校における教科指導や教育活動を充実させるため、指導用教科書や道徳副読本等の指導資料を購入、武道必修化に伴う備品や体育用具、新設特別支援学級用備品等、教育環境の整備を行った。

また、学校図書館用図書の充実を図ったほか、安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度にも考慮しつつ、学校の屋外体育用具の更新・整備を行った。

区分	購入品	金額(円)
教科書	教師用教科書、指導書、副読本等	41,045,024
教材用備品	楽器、ミシン、ストップウォッチ等	24,525,208
学校図書館用図書	本を味方に付ける本、往復書簡等	13,327,865
屋外体育用具	サッカーゴール、防球ネット等	2,585,670
理科教育用備品	オシロスコープ、顕微鏡等	1,510,068
新設特別支援学級用備品	箱庭導入セット、Lプログラム訓練キット等	1,009,788

### 《事業評価》

生徒の学力向上や学習の推進に資するための環境整備として、学校事業運営に要する消耗品や備品等の購入、また、授業用パソコンを効果的に活用することで教科指導の一層の充実を図ることができた。

また、学校図書館における図書を充実することにより、生徒の読書機会を確保するとともに、読書意欲の向上につなげることができた。

担当 教育総務課  
教育研究支援課

## 3 教育研究推進事業

予算現額 4,108,000 円  
 事業決算額 3,815,114 円  
 予算執行率 92.9 %

## 《 事業概要 》

中学校での地域のよさを生かした学習活動の充実や地域と連携した学校行事等の充実を支援するため、特色ある学校づくりの取組を推進した。

## 《 事業評価 》

各中学校では、地域の教育力を活かし、地域の文化や産業にかかる学習活動を行い、地域の方や保護者から信頼を得るとともに、報道等にも多数取り上げられ、特色ある学校づくりの一層の推進を図ることができた。

担当 教育研究支援課

## 4 人権教育推進事業

予算現額 500,000 円  
 事業決算額 485,000 円  
 予算執行率 97.0 %

## 《 事業概要 》

中学校での総合的な学習の時間等において、出会い学習を実施し、生徒の人権意識の高揚を図った。

## 《 事業評価 》

全学年を対象に、部落問題や障がい者、外国人等にかかる人権問題について学んだり、身近な人々の仕事や、生き方について学習を深めたりすることができた。さらに入権集会などを通して保護者、地域の方へ発信したりして、学びを共有し実践力を高めることができた。

担当 人権教育課

## 款 10 教育費

## 項 4 幼稚園費

## 目 1 幼稚園費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,593,969,963 円	23,213,000 円	円	円	132,969,061 円	1,437,787,902 円

## 2 幼稚園職員関係事業

予算現額 1,807,000 円  
 事業決算額 887,688 円  
 予算執行率 49.1 %

## 《 事業概要 》

園長会や幼稚園教諭の資質向上を目的とした教育委員会が実施する研修等において、旅費及び使用料を支給した。

また、養護教諭が園児の定期健康診断、応急処置、健康相談活動等を行う目的で支援園に出張するための旅費及び使用料の支給をした。

なお、執行率が49.1%となった主な要因は、幼稚園教諭等の研修等への参加が予定よりも少なかつたことに伴い、旅費等に不執行が生じたことによる。

### 《事業評価》

幼稚園教諭自身が、自ら学ぶ姿勢を持ち、各種研修会等に積極的に参加し、資質・指導力の向上に努めることで、質の高い幼稚園教育を展開でき、園の円滑な経営につなげることができた。

担当 学校教育課

#### 3 幼稚園管理運営事業

予算現額	276,987,920 円
事業決算額	270,539,936 円
予算執行率	97.7 %

### 《事業概要》

幼稚園における教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ることを基本に、適正かつ円滑な管理運営に努めた。

また、猛暑対策として壁掛け扇風機を74台設置した。

### 《事業評価》

幼稚園における幼児教育活動が円滑かつ効率的に展開され、適切な管理運営を行うことができた。

担当 教育総務課

#### 4 幼稚園施設維持補修事業

予算現額	52,868,000 円
事業決算額	50,619,104 円
予算執行率	95.7 %

### 《事業概要》

法令に基づいた保守点検業務等の実施、維持補修用原材料の支給、小修繕及び修繕工事等を実施した。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
高茶屋幼稚園ほか6園遊戯室空調設備設置工事	高茶屋三丁目 ほか	遊戯室空調設備設置	18,693,150
大井幼稚園公共下水道管接続工事	一志町大仰	公共下水道接続	1,939,350

### 《事業評価》

教育施設維持管理を適切に行することで、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

担当 教育総務課

#### 5 幼稚園保健管理事業

予算現額	31,484,000 円
事業決算額	29,923,120 円
予算執行率	95.0 %

### 《事業概要》

学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行った。

また、園児にとって安全な環境を整えるため、学校環境衛生基準に則した管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給した。

### 《事業評価》

学校保健安全法に基づき、園児及び教職員の健康診断ならびに各種検診業務を行うことで、身体の発育や疾病異常の有無などの早期発見に努め、健康の増進を図ることができた。

学校環境衛生基準に則した適切な管理を行うとともに、(独)日本スポーツ振興センター法に基づいた災害共済給付見舞金を支給することで、安全安心な幼稚園の体制づくりを図ることができた。

また、インフルエンザ等感染症対策の充実を図ったことにより、幼稚園における感染の予防と拡大防止に努めることができた。

担当 学校教育課

### 6 幼稚園給食事業

予算現額	2,716,000 円
事業決算額	2,566,531 円
予算執行率	94.5 %

### 《事業概要》

幼児教育活動の一環として、幼稚園給食を円滑に運営し、安全安心で栄養バランスの取れた給食を提供した。

### 《事業評価》

学校給食法に基づき、栄養バランスの取れた給食を提供することで、園児の心身の健全な発達を図るとともに、日常における食事の正しい理解と望ましい食習慣を養い、食育の充実を図ることができた。

担当 学校教育課

### 7 教育指導活動支援事業

予算現額	11,260,000 円
事業決算額	10,961,035 円
予算執行率	97.3 %

### 《事業概要》

幼稚園における指導活動等を支援することにより、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成するための環境整備を行った。

また、安全で安心な教育環境を確保するため、老朽度や危険度にも考慮しつつ園庭遊具の更新・整備を行うとともに、図書充実事業により幼児用図書の購入を行った。

### 《事業評価》

幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成するための環境整備を行ったことにより、教育活動の充実を図ることができた。

また、園庭遊具を更新することにより、安全で安心な教育環境の整備を図るとともに、幼児用図書を充実することにより、図書に触れる機会が提供でき、幼児の読書に対する興味・関心を高めることができた。

担当 教育総務課  
教育研究支援課

### 8 私立幼稚園援助事業

予算現額	108,850,000 円
事業決算額	108,290,200 円
予算執行率	99.5 %

私立幼稚園の設置者及び保護者等に対して補助を行うことにより、幼児教育の振興と充実を図るとともに、保護者の負担軽減及び公立、私立幼稚園間の格差是正に努めた。

(1) 私立幼稚園補助事業  
《 事業概要 》

私立幼稚園における幼児教育の振興と充実を図るために、設置者等に対する補助を行うとともに、保護者の負担軽減のための補助を行った。

《 事業評価 》

私立幼稚園に在園する4歳児、5歳児の保護者及び設置者等に補助金を交付したことにより、保護者の負担を軽減及び教育環境の充実を図ることができた。

(2) 私立幼稚園就園奨励事業  
《 事業概要 》

私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、公立、私立幼稚園間の保護者負担の格差是正のために、保育料等の減免を行う私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付した。

交付対象園	保育料等減免対象者（人）	金額（円）
16園(市内10園 市外6園)	1,052	94,123,800

《 事業評価 》

公立、私立の幼稚園に就園している園児の保護者に対し、保育料等に係る補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、公立、私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができた。

担当 学校教育課

9 教育研究推進事業

予算現額 2,936,000 円  
事業決算額 2,669,070 円  
予算執行率 90.9 %

幼稚園教職員の資質向上を図るために、先進園視察研修、全国規模の研究大会等への参加や今日的課題の把握に向けた研修を実施し、幼児教育の推進に努めた。

また、幼稚園や地域における子育て支援活動を行うことにより、地域や保護者、ボランティアとの連携を図りながら、子育て家庭を支えていくことに努めた。

さらに、幼保一体化に係るオープンディスカッションを実施し、津市の就学前教育のあり方について、市民ニーズの把握に努めた。

(1) 幼稚園職員研修事業  
《 事業概要 》

幼児教育の専門的な知識を高め、全国的な幼児教育の現状や情報を把握するために、各専門機関が実施する研修会や全国規模の研究大会等に参加するとともに、先進園等の視察研修を実施し、幼稚園職員の資質向上や幼児教育の充実に向けた取組を行った。

《 事業評価 》

幼稚園教諭や養護教諭等の幼稚園職員が、先進園視察や全国的研究大会等に参加し研修することによって、その研修内容を日々の幼児教育に生かしていくことができた。

また、研修内容を園内外で報告、実践することにより、全職員のレベルアップにつなげることができた。

(2) 子育て支援事業  
《 事業概要 》

幼稚園での未就園児の会や子育て相談「あそびの広場」、子育て広場「にこにこキッズ」における支援事業を実施し、子育てに不安をもつ保護者の不安解消に努めながら、交流の場を提供し、地域の子育てや家庭の教育力の向上に努めた。

### 《事業評価》

保護者の子育てに対する不安を和らげ、地域や保護者との連携を図りながら、地域や家庭の教育力の向上につなげることができた。

担当 教育研究支援課

#### 10 人権教育推進事業

予算現額	944,000 円
事業決算額	866,950 円
予算執行率	91.8 %

### 《事業概要》

園児の人権意識の高揚を図るために幼稚園4園で、子どもへの暴力防止セミナーを実施し、全幼稚園において出会い学習を実施した。

また、人権啓発に資する図書を購入し、読み聞かせ等により園児とともに、仲間の大切さに触れ合う機会をつくった。（39園 125冊購入）

### 《事業評価》

全園児を対象に、様々な人との出会いや、絵本の読み聞かせを通して人権感覚を高めるとともに、保護者への啓発にもつなげることができた。

また、子どもへの暴力防止セミナーを通して、自他の権利を守ることについて学ぶことができた。

担当 人権教育課

#### 款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 1 社会教育総務費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
663,412,304 円	3,319,000 円	136,532,000 円	9,000,000 円	52,600 円	514,508,704 円

#### 3 生涯学習振興事業

予算現額	57,637,000 円
事業決算額	56,906,799 円
予算執行率	98.7 %

社会教育の振興を目的として施策の立案や検証のために社会教育委員の会議を開催した。

また、社会教育関係団体等への支援を行うとともに、指導者育成の研修を実施し、生涯学習の振興を図った。

##### (1) 社会教育委員関係事業

### 《事業概要》

社会教育委員15人（公募委員2人含む。任期：平成26年6月30日まで）を委嘱し、生涯学習振興計画（平成25年度～平成29年度）の策定に対し、幅広い知識や経験に基づく助言を得た。

区分	内容	金額（円）
社会教育委員	社会教育委員の会議4回、研修会4回	624,800

### 《事業評価》

社会教育委員の会議において、平成24年度事業の実施計画の検討を行うとともに、生涯学習振興計画（平成25年度～平成29年度）を策定したことにより、学習環境の充実や地域の人材育成など生涯学習の推進に繋げていく。

(2) (財)津市社会教育振興会支援  
《事業概要》

青少年健全育成のための活動や社会教育関係団体、事務所等の研修に活用される市青少年野外活動センターの管理運営を行う、(財)津市社会教育振興会への支援により、幅広い社会教育活動を行った。

また、公益財団法人への移行についても支援を行った。

《事業評価》

(財)津市社会教育振興会への支援強化により、市青少年野外活動センターの効率的な管理運営、質の高いサービスによる青少年教育の推進に努めることができた。

(3) 生涯学習関係事業  
《事業概要》

生涯学習の総合的な企画及び調査研究に関する業務を行うとともに、生涯学習指導者研修会を開催し、地域の人材育成支援を行った。

区分	内容	金額（円）
生涯学習指導者研修会	研修会2回	51,140

《事業評価》

市P.T.A連合会等の社会教育関係団体への支援を通じて、地域や学校での指導的な役割を担う人材の育成を図ることができた。

(4) 学校体育施設開放関係事業  
《事業概要》

学校施設を学校教育に支障のない範囲において開放することにより、地域住民の生涯学習活動の支援を行った。（学校体育施設開放事業実施校 小学校53校、中学校20校）

また、旧学校体育施設（4施設）の適正な維持管理に努めるとともに、美杉多気体育館の耐震補強工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
美杉多気体育館耐震補強工事	美杉町多気	耐震補強工事	9,959,250

《事業評価》

学校施設の使用について、利用団体相互の理解・協力により、有効な施設利用を図ることができた。

また、施設の耐震化を行うことにより、安全性と耐久性の確保を図ることができた。

(5) 子ども読書活動推進関係事業  
《事業概要》

子ども読書活動推進計画の目標「読書活動が活発なまち・「つ」の創造～いつでも、どこでも、本に出会えるまちをめざして～」を実現するため、手づくり絵本教室や絵本コンクールを行った。

区分	内容	金額（円）
手づくり絵本コンクール	出品数178点	919,891

《事業評価》

手づくり絵本教室及び手づくり絵本コンクールは、多くの参加、出品があり、とても好評であった。

今後も、絵本教室などを通して、読書の大切さを推進していく。

担当 生涯学習課

4 青少年対策事業	予算現額	20,056,000 円
	事業決算額	19,692,914 円
	予算執行率	98.2 %

青少年の育成と指導に重点を置いた取組を関係機関や団体と連携し、青少年の健全育成と非行防止の市民運動化を行った。

#### (1) 中央青少年指導員活動関係

##### 《 事業概要 》

「愛の声かけ」による問題行動の未然防止及び指導後の適切な措置や継続指導を行うことにより、非行防止活動を推進した。

中央青少年育成指導員 委嘱者数 274人

##### 街頭指導活動回数・活動人数

区分	津		久居		合計	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
中央街頭指導	352	1,397	339	1,344	691	2,741
センター街頭指導	166	449	161	435	327	884

##### 活動範囲

津（津地域・河芸地域・芸濃地域・安濃地域）

久居（久居地域・美里地域・香良洲地域・一志地域・白山地域・美杉地域）

・「愛の声かけ」をした数 7,786人

・注意、指導した数 352人

##### 《 事業評価 》

昨年度よりも多く「愛の声かけ」を中心に活動し、青少年の健全育成に努めることができた。

今後も、青少年の動向を十分踏まえ「愛の声かけ」など、柔軟に対応していく。

#### (2) 青少年育成市民会議活動支援

##### 《 事業概要 》

防犯及び危険防止を目的にした「子どもSOSの家」事業を支援することにより、地域の安全への取組を行った。

また、オアシス（あいさつ）運動を支援することにより地域との交流を推進した。

##### 《 事業評価 》

「子どもSOSの家」事業支援として事業の周知、啓発に努め、市内全域において、約3,700軒の協力を得ることができた。

また、地域の実情を踏まえ、市全域で一体感を持った青少年健全育成活動が可能となるよう支援することができた。

#### (3) 子ども会育成者連合会活動支援

##### 《 事業概要 》

地域の枠組みを越えた子どもたちの交流や、地域における子育て支援を目的に、子ども会育成者連合会活動と各地域子ども会育成者活動への支援を行った。

##### 《 事業評価 》

子ども会大会や写生展示会、洋上教室等、幅広く子どもたちが参加できる事業を通じて、子どもたちの交流や地域での交流等、子ども会活動を支援することができた。

また、子ども会活動の一環であるジュニアリーダー研修を支援することにより、ジュニアリーダーの育成に寄与することができた。

担当 生涯学習課

5	青少年センター管理運営事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	33,157,000 円 31,834,091 円 96.0 %
---	---------------	------------------------	--

#### 《 事業概要 》

青少年の健全育成を目的に、街頭指導活動や啓発活動、電話、面接、メールによる青少年に関する悩み相談を行った。

- ・面接相談 23件
- ・電話相談 21件
- ・メール相談 83件

#### 《 事業評価 》

青少年の問題行動の早期発見や速やかな対応に心がけ、継続的な相談業務に取り組むことができた。

また、青少年サポート会議等の場で、取組方法を協議するなど、問題解決への手がかりについて共通認識を図ることができた。

担当 生涯学習課

6	放課後児童健全育成事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	226,945,000 円 223,520,172 円 98.5 %
---	-------------	------------------------	--

#### 《 事業概要 》

放課後児童クラブ46施設（公設民営40・民設民営6）の運営に対する支援及び施設修繕等により環境改善を図るとともに、平成25年度に南が丘と香良洲地区の放課後児童クラブ施設を新築するための地質調査・実施設計委託を行った。

#### 実施状況（クラブ数）

開設日数・児童数					長時間開設	障がい児受入
10~19人	20~35人	36~45人	46~55人	56~70人		
3	10	17	11	5	46	25

#### 小規模放課後児童クラブへの補助金

対象児童数	運営形態	補助金額（年額：円）
5人以上9人以下	新設	1,118,000
	既設	914,000

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
南が丘放課後児童クラブ新築工事に係る設計業務委託	垂水	新築工事に係る設計	2,591,400
香良洲放課後児童クラブ新築工事に係る設計業務委託	香良洲町	新築工事に係る設計	2,572,500
香良洲放課後児童クラブ新築工事に係る地質調査業務委託	香良洲町	新築工事に係る地質調査	1,306,200

#### 《 事業評価 》

放課後児童クラブの開設日数や対象人数等に応じた補助金を交付することで、放課後児童クラブの適切な運営に寄与することができた。

また、施設維持に係る修繕等を行うことで、施設の安全性、耐久性の確保を図ることができた。

担当 生涯学習課

7 成人式関係事業

予算現額	3,574,000 円
事業決算額	3,570,844 円
予算執行率	99.9 %

《 事業概要 》

新成人で構成する成人式実行委員会とともに、テーマの考案から当日の運営まで、新成人自らが企画・運営する成人式を開催した。

日 程 1月13日（日）  
場 所 メッセウイング・みえ  
参加人数 1,981人

《 事業評価 》

成人式は、1箇所開催6年目を迎える、新成人1,981人（出席率70.2%）出席のもと開催することができた。

多くの参加者により盛り上がりのある成人式であったが、参加者の私語も多く、式典に際してのモラルの向上が求められる課題も残した。

担当 生涯学習課

8 人権教育関係事業

予算現額	22,608,000 円
事業決算額	22,113,318 円
予算執行率	97.8 %

地域における人権意識の高揚を図るため、地域住民を対象とした人権教育講演会等の地域ネットワーク事業を実施するとともに、公民館講座等での人権出前講座を実施した。

また、三重大学の学生サークルと連携し、園児・保護者を対象とした人権人形劇の公演、外国人住民等を対象とした日本語講座を開催した。

(1) 人権学習会事業

《 事業概要 》

親の会、地域人権ネットワーク等各種団体において、地域に応じた人権学習会を定期的に実施した。

《 事業評価 》

各地域の人権ネットワーク組織等と連携して人権学習会を実施することができた。

今後も、地域の各種団体との連携を図り、研修内容や学習会実施の周知方法を工夫して、さらに事業効果を高めていく。

(2) 人権教育講演会事業

《 事業概要 》

市内各所において市民を対象とした人権啓発のための人権講演会（人権人形劇、人権落語、人権コンサート）を行った。

《 事業評価 》

地域課題を意識しながら人権啓発につながる講演会を少人数単位で開催し、講師の息づかいが聞こえるような距離で、様々な人権課題に対して学ぶ機会を提供することができた。

担当 人権教育課

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
57,080,056 円	円	円	2,800,000 円	4,873,538 円	49,406,518 円

## 1 教育集会所管理運営事業

予算現額 62,125,000 円  
 事業決算額 57,080,056 円  
 予算執行率 91.9 %

## 《 事業概要 》

地域の教育集会所を拠点として、子ども達を対象に地域学習会やふれあい体験事業等を行った。また、保護者等と協力し合い人権教育講演会等を開催した。

長野教育集会所では、現行の耐震基準（昭和56年）以前に建てられ、補強が必要なことから耐震補強工事を行った。

梅ヶ広教育集会所では、県道松阪青山線道路拡幅工事に伴い移転が必要となったことから、新築・解体工事を行った。

## 学習会等実施状況

地域	施設数	学習会等実施回数 (回)
津	1	75
久居	7	276
芸濃	4	30
美里	2	137
一志	1	71
白山	4	642
美杉	1	16

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
道路改良工事に伴う梅ヶ広教育集会所新築工事	美杉町八手俣	鉄骨造平屋建 135m <sup>2</sup>	18,239,236
長野教育集会所耐震補強工事	美里町北長野	耐震補強工事	3,874,771
道路改良工事に伴う梅ヶ広教育集会所解体工事	美杉町八手俣	解体工事	3,024,000

## 《 事業評価 》

地域の課題に応じて学習会を実施することができた。

今後は、学習方法、回数等について検討を引き続き行い、教育集会所の活動をさらに進めるとともに人権を考えるワークショップ等を取り入れて学習内容を充実させるとともに、参加者の交流の機会を設定していく。

また、施設の耐震化により、施設の安全性、耐久性の確保を図ることができた。

担当 人権教育課

## 款 10 教育費

## 項 5 社会教育費

## 目 3 公民館費

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
469,745,919 円	798,000 円	560,000 円	98,000,000 円	40,943,302 円	329,444,617 円

## 2 公民館管理運営事業

予算現額 390,654,000 円  
 事業決算額 367,134,986 円  
 予算執行率 94.0 %

## 《 事業概要 》

施設の安全や快適な学習環境を整備し、市民が安心して学習活動ができるよう管理運営を行い、年間利用回数は、34,797回で、505,440人の利用があった。

主な事業として、耐震性に課題のある中央公民館の移転に伴い、津センターパレスの購入を進めるとともに、利用者に安心して施設を利用いただけるよう、公民館施設の耐震補強事業や改修工事等を実施した。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
倭公民館耐震補強工事に係る設計業務委託	白山町中ノ村	耐震補強工事に係る設計	931,350

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
高宮公民館改修工事	美里町足坂	各室、トイレ、通路等間取、内装改修	22,606,500
敬和公民館屋上防水改修工事	寿町	屋上防水改修	7,851,900
川合公民館屋上防水改修工事	一志町八太	屋上防水改修	4,255,650
豊里公民館耐震補強その他工事	大里睦合町	耐震補強工事、内装改修	3,150,000
大井公民館公共下水道管接続工事	一志町大仰	下水道管接続	2,929,270

## 《 事業評価 》

安全に安心して利用できるよう緊急度の高い公民館施設から優先的に改修を進めるとともに、公民館総合補償制度への加入など、公民館管理事業を計画的かつ効果的に行うことができた。

担当 生涯学習課

## 3 公民館講座等関係事業

予算現額 51,201,000 円  
 事業決算額 49,792,264 円  
 予算執行率 97.2 %

## 《 事業概要 》

あらゆる年代の多様なニーズに対応するため、地域的、社会的課題をテーマとした課題講座、市民の生きがいづくりや自己実現を支援する教養講座を開催し、バスを活用した講座を含めた魅力ある公民館講座を開催し、548講座11,064人の参加があった。

また、市政教室を開催し、8団体で141人の参加があった。

区分	講座数	受講者数 (人)
課題講座	168	5,115
教養講座	380	5,949
計	548	11,064

### 《事業評価》

受講成果が地域等に還元できる課題講座を開催するなど、講座の内容の充実を図ることで、市民の学習ニーズに応じることができた。

また、公民館講座修了生による自主講座も活発に行われ、主体的な学習活動の支援に努めることができた。

担当 生涯学習課

款 10 教育費

項 5 社会教育費

目 4 図書館費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
372,156,638 円	円	円	円	181,927 円	371,974,711 円

2 図書館管理運営事業

予算現額 137,581,000 円  
事業決算額 134,294,478 円  
予算執行率 97.6 %

### 《事業概要》

市民（市内在勤、在学者を含む）を対象に図書館サービスを提供するため、9館2室の図書館（室）における職員の管理、施設管理、広報活動及び庶務事務等の図書館管理業務を行った。

### 《事業評価》

毎月定期的に職員会議を実施し、各館の意思統一を図ることなどにより、図書館の円滑な運営及び適切な維持管理等を行うことができた。

また、河芸図書館の空調設備改修工事を行い、快適な環境づくりを進めることができた。

担当 津図書館

3 図書館活動事業

予算現額 110,334,000 円  
事業決算額 109,957,899 円  
予算執行率 99.7 %

### 《事業概要》

図書館奉仕業務として、図書館利用者からの様々なニーズに応えられるよう、図書資料の充実や情報・資料提供サービスの充実等を図りながら、読書活動の振興に向けた事業を実施し、利用者サービスの向上及び新たな利用者の拡大に努めた。

#### 資料数、利用状況等

図書資料		貸出登録者数	利用者数
蔵書数（冊）	貸出数（冊）	（人）	（人）
1,056,607	1,376,351	33,728	337,990

#### 行事

区分	開催回数（回）	参加者数（人）
おはなし会	458	6,187
各種講座	19	502
講演会	6	392
その他の行事	47	4,292

支援事業等

区分	団体数	開催回数(回)
ボランティアグループ数	20	
学校への研修講座		5
社会見学	27	
インターンシップ・教師研修受入	6	
体験学習	11	

《事業評価》

図書資料については、副本購入の見直し、他館との相互利用、利用者の調査・研究に資するための資料の補充及び買い替え等を行い、幅広い資料を提供するとともに、既存資料の汚れや破損についても極力修理を行い、資料の充実を図ることができた。

図書館行事については、市民の利便性を考慮し、開催場所や内容の検討を行うことで、身近で来館しやすい環境を作り、また、ボランティアのための養成講座の開催や活動場所の提供等の支援を行うことにより、読書振興を図ることができた。

担当 津図書館

款 10 教育費 項 5 社会教育費 目 5 文化財保護費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
118,866,990 円	37,177,000 円	4,487,000 円		1,691,295 円	75,511,695 円

1 文化財保護関係事業

予算現額 79,023,000 円  
事業決算額 76,697,007 円  
予算執行率 97.1 %

国、県、市指定文化財の保護、市所管の史跡等の維持管理など、市内に所在する文化財の保存活用に関する事業を実施した。

(1) 文化財保護管理事業

古墳や城跡などの史跡について、草刈りなど各種業務を委託して適切な史跡の維持管理に努めた。

ア 市管理史跡等維持管理事業

《事業概要》

文化財保護に対する理解と意識の高揚を図ることを考慮し、地域住民で構成される自治会等に業務を委託したほか、市街地においては業者委託を実施し、史跡の維持管理を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
史跡等維持管理業務委託	平氏発祥伝説地ほか34箇所	除草・清掃・樹木剪定等	3,718,981

《事業評価》

年間を通じて適切に管理されており、地域住民への普及・啓発にも繋がった。

イ 谷川土清旧宅施設管理事業  
《事業概要》

国史跡谷川土清旧宅の管理にあたり、消防設備保守点検の業者委託を行い、休館日の鍵管理及び初期消火については、施設の所在する地元自治会に業務を委託した。

《事業評価》

谷川土清旧宅を適切に管理することができ、年間を通じて公開することができた。

(2) 文化財保護活用事業

文化財の指定、調査研究、文化財の修理や伝承活動に要する経費等への補助金交付を行うほか、パンフレットの作成など市民への文化財保護に関する普及・啓発を実施した。

ア 文化財保護事業補助  
《事業概要》

文化財の保存活用を図るため、文化財所有者等が行う修理等の保護事業に対して補助金を交付した。

区分	事業数	事業内容	金額(円)
地域文化資産づくり事業	9	用具・衣裳の整備など	4,851,000
修理事業	4	建造物、古文書などの修理	3,328,000
伝承基盤整備事業	8	用具等新調・補修	1,645,250
伝承活動事業	17	用具・衣裳の整備など	703,000
復旧修理事業	1	碑、石囲いなどの復旧修理	553,350
管理事業	12	除草・清掃・樹木剪定など	232,400
伝承者養成・公開事業	1	研修、公開事業など	73,000

《事業評価》

20年に1度の香良洲お木曳き行事にかかる用具の製作や衣装の作成等のほか、伝統芸能の伝承活動事業や有形文化財の保存修理事業などへ補助することにより、文化財の保護を適切に行うことができた。

イ 津城跡調査研究事業  
《事業概要》

平成21～23年度に実施した本丸・西之丸の石垣レーザー測量や石垣の孕みなど破損箇所などの結果をまとめた調査報告書（概要版）を公表した。

また、市所蔵の江戸時代後期の城下絵図の複製頒布と同時に江戸時代前期・中期の城下絵図を再版した。

《事業評価》

石垣の測量結果や破損箇所などの資料の公開、城下絵図の復刻によって、津城とその城下町について広く周知を図ることができた。

ウ 多気北畠氏遺跡関係事業  
《事業概要》

国史跡の追加指定を受けた県道隣接地の一部について、史跡の保存と景観の保全を目的に用地購入等を行った。

また、城下の構造解明を目的とした地名調査を実施し、国名勝北畠氏館跡庭園について、保存管理計画案をまとめた。

区分	内容	金額(円)
建物等補償費	宅地建物、立木などに対する補償	38,036,184
土地購入費	県道に隣接する土地購入 (638.2m <sup>2</sup> )	4,722,680

### 《事業評価》

県道に隣接する史跡指定地の景観保全と適切な史跡の保存管理を行うことができた。  
また、今後庭園を含めた北畠氏館跡の史跡整備に繋げることができた。

担当 生涯学習課

#### 2 埋蔵文化財保護関係事業

予算現額	21,902,318 円
事業決算額	20,492,589 円
予算執行率	93.6 %

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査など調査研究のほか、「まいぶん津」などの刊行物により、市民への普及・啓発などを行った。

##### (1) 埋蔵文化財保護活用事業（単独）

###### 《事業概要》

各種開発事業と埋蔵文化財保護の調整、試掘・範囲確認調査の実施、埋蔵文化財の活用・公開等を行った。

区分	内容	金額（円）
埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財確認への対応及び埋蔵文化財試掘・確認調査等の実施等	353,331
刊行物作成事業	「まいぶん津」第11号、「津市文化財年報7」の刊行	255,474

###### 《事業評価》

各種開発行為に係る埋蔵文化財保護措置協議や試掘・確認調査等に迅速に対応するとともに、土器の接合体験など出張講座等による普及啓発事業や刊行物作成事業を通し、埋蔵文化財の活用・公開を図ることができた。

##### (2) 埋蔵文化財保護活用事業（補助）

###### 《事業概要》

平成23年度に発掘調査した多気北畠氏遺跡の調査報告書の作成、個人住宅建設等に伴う試掘・確認調査、出土遺物の保存科学処理を実施した。

区分	内容	金額（円）
多気北畠氏遺跡発掘調査	多気北畠氏遺跡（上多気六田地区）の調査報告書作成	2,056,876
市内遺跡出土遺物保存処理	薬師谷古墳群ほか出土の金属製品等の保存処理	1,846,068
市内遺跡試掘確認調査	個人住宅建設等に伴う試掘・確認調査（久居城下町遺跡ほか6遺跡）及び調査報告書作成	675,150

###### 《事業評価》

多気北畠氏遺跡で確認された東西幹線地割に沿った石積による区画等、過去6年間の調査成果を含む上多気六田地区の総括的報告書を作成し、国史跡指定の基礎資料とすることができた。

##### (3) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

###### 《事業概要》

民間開発事業に伴い埋蔵文化財の記録保存を図るために、埋蔵文化財発掘調査を受託し、発掘調査及び発掘調査報告書の刊行を行った。

遺跡名	事業場所	内容	金額(円)
山の脇遺跡	一身田豊野	発掘調査報告書作成	128,759
津城跡	丸之内	緊急発掘調査	47,928
三行城跡	河芸町三行	緊急発掘調査	13,580

#### 《事業評価》

民間開発事業者との埋蔵文化財保護に係る協議・調整の円滑化に努め、緊急発掘調査に迅速に対応することができた。

また、発掘調査の成果については、発掘調査報告書を通し、広く一般へ公開することができた。

担当 生涯学習課

### 3 資料館等管理運営事業

予算現額	22,651,682 円
事業決算額	21,677,394 円
予算執行率	95.7 %

市内各地域の歴史を広く周知するため、資料館等で各種歴史資料を公開し、来館者への展示・啓発を行った。

#### (1) 資料館管理運営事業

##### 《事業概要》

市内7箇所の資料館等で各種歴史資料を公開し、このうち、一身田寺内町の館と美杉ふるさと資料館については、地元民間団体へ指定管理委託を行った。

区分	所在地	入館者数(人)
一身田寺内町の館	一身田町	11,298
芸濃郷土資料館	芸濃町椋本	235
美里ふるさと資料館	美里町北長野	2,245
安濃郷土資料館	安濃町東觀音寺	807
香良洲歴史資料館	香良洲町	5,981
白山郷土資料館	白山町中ノ村	1,376
美杉ふるさと資料館	美杉町上多氣	1,079

##### 《事業評価》

常設展示のほか、ボランティアスタッフによる企画展示を実施した。

また、ボランティアガイドの活動拠点としての活用も定着し、各地域の歴史・文化の学習の場を提供することができた。

#### (2) 香良洲歴史資料館リニューアルオープン

##### 《事業概要》

香良洲歴史資料館は、平成23年9月からの改修工事を終えて、平成24年4月17日に三重海軍航空隊(予科練)と市内の戦災等「戦争と平和」を展示テーマとした資料館としてリニューアルオープンした。

県内外からの問い合わせも増え、入館者数は前々年と比べて約1.5倍となった。

##### 《事業評価》

三重海軍航空隊(予科練)関係の資料に加えて、戦災関係の資料など展示内容が充実することによって、平和学習の場として提供することができ、さらに貴重な資料を後世へ継承することができるようになった。

担当 生涯学習課

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
556,310,210 円	107,000 円	円	円	304,925,654 円	251,277,556 円

## 2 短期大学管理運営事業

予算現額	95,943,000 円
事業決算額	92,898,617 円
予算執行率	96.8 %

学生が、安心安全に学生生活を送れるよう、地域に貢献する高等教育機関として、短期大学の適正な管理運営に努めた。

(1) 短期大学管理運営事業  
《事業概要》

学生の就職・編入学支援及び福利厚生に係る事業を実施するとともに、入学試験の実施、校舎棟を始めとする各施設の維持及び学内警備等、短期大学の管理運営を行った。

また、学生の就職支援について民間のノウハウを活用できるよう取組、学生の就職率の向上等、いわゆる出口管理の強化に努めた。

(平成24年4月1日現在)

学科名	学生数(人)		
	1年次	2年次	合計
法経科第1部	100	113	213
法経科第2部	66	105	171
生活科学科	154	173	327
計	320	391	711

## 《事業評価》

予算の計画的かつ効率的な執行に努めしたことにより、必要最小限の経費で大学の管理運営を行うことができた。

大学を取り巻く教育環境が変化してきており、効率的な大学運営のための検討等を努めている。

(2) 図書館管理運営事業  
《事業概要》

学生の勉学と高度な研究を進められるよう、図書館情報システム機器の活用や学生のための各種参考図書等を購入するなど、図書館の管理運営を行った。

蔵書数 (平成24年度末現在)	和書(冊)	洋書(冊)	計(冊)
	81,893	4,258	86,151
利用状況 (平成24年度実績)	4,064	7,142	25,495

## 《事業評価》

図書の案内表示や配架に工夫を凝らし、学生や教員、市民が親しみやすく利用しやすい環境づくりを整えることができた。

担当 短期大学事務局

3 地域連携センター関係事業	予算現額 事業決算額 予算執行率	4,511,000 円 3,592,282 円 79.6 %
----------------	------------------------	--------------------------------------

三重短期大学における教育研究の成果を活用し、生涯学習機会の提供や市政との連携、高大連携などを通じ、地域への貢献や地域との連携を図った。

なお、執行率が79.6%となった主な要因は、公開講座の外部講師が予定より少なく、講師謝金の不執行が生じたことによる。

#### (1) 地域貢献推進事業

三重短期大学地域連携センターを中心に、市政の課題解決と職員の政策形成能力の養成をめざした「政策研究・研修」や、産学連携、高大連携事業の事業を通じ、地域貢献や地域連携を組織的かつ積極的に推進した。

また、市民の生涯学習の場である地域連携講座等の実施を通じ、広く学術情報の提供を図るとともに、出前講座やオープンカレッジの開設等、市民ニーズに合わせた取組を進めた。

##### ア 市政との連携

###### 《事業概要》

昨年度に引き続き「政策研究・研修」を進めたほか、本市を1つの事例として市職員によるリレー講義で自治体行政の現状や課題について考える「自治体行政特論」の開講などを通じ市政との連携を図った。

政策研究・研修テーマ	参加自治体等
過疎地域における健康・安心を基盤とした地域づくりに関する実践的研究～美杉地域の医療を大切にする地域づくり～	津市（美杉総合支所）

###### 《事業評価》

市立の公立短期大学として、市政との連携は最重点課題であり「政策研究・研修」等の取組を通じ、本学の教育研究の成果を発揮することができた。

また、市や地域が取り組む中心市街地空き店舗活用事業や一身田寺内町の清掃活動などに学生が参加し、連携を深めることができた。

##### イ 産学連携、高大連携など

###### 《事業概要》

産学連携協定、高大連携協定に基づき「地方都市のまちづくりを考える」をテーマにした小論文コンクールや、高等学校への出前講義などの事業を実施した。

また、教員の研究テーマ等をまとめた「シーズ集」を発行・活用するなどして幅広い地域連携事業を進められるよう努めた。

###### 《事業評価》

産学連携、高大連携協定に基づく取組やシーズ集を活用し、高等学校や地域の経済団体等へ三重短期大学の存在を広めることができた。

既に協定を締結している県立亀山高校、津商業高校及び相可高校との間で、出前講義や大学見学会の開催など、連携強化を進めることができた。

##### ウ 生涯学習機会の提供

###### 《事業概要》

従来より実施している地域連携講座に加え、大学の講義を気軽に体験できるアラカルト形式の「オープンカレッジ」を開設した。

さらに、講演可能なテーマを事前に設定し、要望に応じて地域に出向いて実施する「出前講座」も開設し、より多様な市民ニーズに対応できるよう取組を進めた。

区分	テーマ	受講者数(人)
オープンカレッジ	障がい者って誰のこと?~障害者入門~	33
	メタボリックシンドロームの現状と食生活による予防	30
	今後の地方自治のゆくえー地方制度改革と住民自治ー	31
	伊勢商人ー主人と番頭ー	35
	3・11以降における自己のアイデンティティの問題ー物語論との連関でー	21
	山本周五郎は災害をどう描いたか	24
	家や土地の所有権をめぐるトラブル	25
	栄養の大切さと正しいダイエットのしかた	22
	ロボティクスとサイバネティクス	21
	消費税をどうするか	23
地域連携講座	「市民の、市民による、市民のための刑法」とは何か?	28
	あらためて生物多様性について考える	24
地研セミナー	内部留保の経営分析	14
	退職をめぐる法的トラブルについて考える	26
出前講座	落語に学ぶ心理学ー記憶の描かれ方ー	45
	職場でのハラスメントと法	30
	外国人との共生について	12
	野菜をたっぷり食べよう350(さん・ごー・まる)の話	20
	高齢者のための食生活と栄養	35
	落語に学ぶ心理学ー記憶の描かれ方ー	35
	落語に学ぶ心理学ー記憶の描かれ方ー	26
	所有権について	28
	津を中心とした江戸時代の経済	79
	外来生物問題の環境倫理	75
その他講座	伊勢商人と商人道(移動講座)	61
	健康づくりのための家庭料理を学ぼう	20

※高大連携に係る出前講座を除く

### 《事業評価》

地域連携講座や地研セミナーの開講、みえアカデミックセミナーへの参加に加え、オープンカレッジや出前講座についての取組を進めることにより、昨年度以上に多彩な市民ニーズに対応でき、生涯学習機会の提供を充実させることができた。

今後も、より効果的な講座の開催に努めていく。

### (2) 地域問題研究事業

#### 《事業概要》

「地域に開かれた大学」づくりを積極的に進めるため、地域問題に関する調査研究を行い、研究成果の公表などを行った。

##### 地域問題研究の取組状況

地研年報(年1回)、地研通信(年3回)

##### (主な研究内容)

- ・三重県内地域の震災避難計画の検証に関する研究 一津市を中心にー
- ・労働法的問題に関する日韓比較研究
- ・自治体財政分析手法の開発
- ・皆保険体制の持続可能性~国保加入者の生活実態に着目して~
- ・近代マビキ慣行の比較研究
- ・三重県における長寿地域とその環境要因について
- ・戦前・戦中期の外国人管理法制
- ・内部留保の実態ー企業分析を通じてー
- ・自動車リサイクルをめぐる企業間関係の性格に関する研究
- ・京都・大和(奈良県)と伊勢神宮を結ぶ三重の歴史街道、初瀬街道と伊勢本街道沿いの地域にみられる食の文化について

## 《事業評価》

地域問題の調査研究は、大学運営の重要な要素であり、この研究成果を、地研セミナーの形で報告し、市民に還元することができた。

研究課題の中から市との政策研修や共同研究につながる事例があり、今後も、行政や団体、企業との共同研究なども展開できるような体制づくりを進めていく必要がある。

担当 短期大学事務局

4 教育研究関係事業	予算現額 14,931,000 円 事業決算額 12,927,675 円 予算執行率 86.6 %
------------	---

## 《事業概要》

地域に根ざした高等教育機関として、地域貢献、人材の育成、学術研究、生涯学習など、地域の多様なニーズに応える教育機関としての業務を実施した。

また、法経科、生活科学科の各教官用図書、実験実習用機器及び教育用パソコン周辺機器等の購入を行った。

### 教育研究用整備備品

内容	金額(円)
紫外可視分光光度計、ビルトインコンロ・高速オーブン・自立ユニット、栄養指導フードモデル、真空包装機、微量遠心分離機ほか	3,936,752

## 《事業評価》

計画的かつ効率的な予算執行に努めたことにより、必要最小限の経費で大学の教育研究を充実させることができた。

担当 短期大学事務局

5 短期大学施設維持補修事業	予算現額 10,565,000 円 事業決算額 10,564,160 円 予算執行率 100.0 %
----------------	--

## 《事業概要》

校舎棟エレベータの設置に係る設計業務委託及び渡り廊下の耐震診断を実施するとともに、各施設、設備等の安全性と耐久性の確保を図るために施設維持修繕等を実施した。

また、施設の老朽化に伴い、緊急修繕と並行して中期的な施設整備計画の策定に向けた取組を進めた。

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
クラブハウス棟改築工事等に係る設計業務委託	一身田中野	エレベータ設置、クラブハウス棟改築に係る設計	6,360,900
クラブハウス棟改築工事等に係る地質調査業務委託	一身田中野	エレベータ設置、クラブハウス棟改築に係る地質調査	1,497,300
耐震診断調査業務	一身田中野	渡り廊下の耐震診断	399,000

## 《事業評価》

施設維持修繕を適切に行うことで、施設の安全性と耐久性の確保を図ることができた。

担当 短期大学事務局

## 款 11 災害復旧費

## 項 1 農林水産業施設災害復旧費

## 目 1 農地災害復旧費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
79,420,408 円	26,021,000 円	円	円	1,577,270 円	51,822,138 円

## 1 農地災害復旧事業

予算現額 133,664,213 円  
 事業決算額 79,420,408 円  
 予算執行率 59.4 %

平成23年8月29日から9月7日に発生した台風12号、平成23年9月15日から23日に発生した台風15号、平成24年6月13日から20日に発生した台風4号及び平成24年9月21日から10月1日に発生した台風17号により被災した農地の早期復旧を図るため、災害復旧工事等を実施するとともに、小規模な地元発注工事に対し補助金を交付した。

なお、執行率が59.4%となった主な要因は、農地災害復旧事業（事業費：14,509,000円）を平成25年度へ繰越したことによる。

## (1) 農地災害復旧事業

## 《事業概要》

被災箇所復旧に伴う調査・設計業務委託を実施するとともに、農地の復旧工事を行った。  
 また、台風により被災した農地の早期復旧を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
農地災害(台風17号災害)復旧事業に伴う災害査定用設計書作成業務委託 ほか1件	大里山室町ほか13町	設計業務一式	12,092,951

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
安濃町草生及び安濃町戸島地内農地及び農業用施設災害復旧工事 ほか5件	安濃町草生ほか4町	田(畔) L=18m	39,592,154

## 《事業評価》

農地の復旧工事等を行うことにより、被災箇所の早期復旧に努めた。

## (2) 補修用原材料支給事業

## 《事業概要》

地元自治会・土地改良区等が自ら実施する農地の復旧・補修について、生コンクリート・碎石・U字溝等の原材料を支給した。

区分	支給先	内容	金額(円)
補修用原材料支給	片田久保町ほか62件	柵板、土のう袋、良質土等	2,592,915

## 《事業評価》

農地の復旧・補修に係る原材料を支給することにより、被災箇所の復旧経費の軽減及び早期復旧に努めた。

## (3) 市単土地改良補助事業

## 《事業概要》

地元自治会・土地改良区等が発注する小規模な農地災害復旧工事について、工事に係る費用の70%を補助した。

補助工種	件数(件)	金額(円)
農地災害復旧工事補助金	64	17,104,000

### 《事業評価》

農地災害復旧工事、復旧・補修に係る原材料支給及び小規模災害に対する補助により、被災箇所の早期復旧に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

款 11 災害復旧費 項 1 農林水産業施設災害復旧費 目 2 農業用施設災害復旧費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
193,473,634 円	45,482,000 円	円	23,500,000 円	16,150,547 円	108,341,087 円

1 農業用施設災害復旧事業 予算現額 256,227,787 円  
事業決算額 193,473,634 円  
予算執行率 75.5 %

平成23年9月15日から23日に発生した台風15号、平成24年6月13日から20日に発生した台風4号及び平成24年9月21日から10月1日に発生した台風17号により被災した農業用施設の早期復旧を図るため、災害復旧工事等を実施するとともに、小規模な地元発注工事に対し補助金を交付した。  
なお、執行率が75.5%となった主な要因は、農業用施設災害復旧事業（事業費：55,742,000円）を平成25年度へ繰越したことによる。

#### (1) 農業用施設災害復旧事業

##### 《事業概要》

被災箇所復旧に伴う調査・設計業務委託を実施するとともに、農業用施設の復旧工事を行った。

また、台風により被災した農業用施設の早期復旧を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
農業用施設災害(台風17号災害) 復旧事業に伴う災害査定用設計 書作成業務委託 ほか2件	片田長谷町ほか20町	設計業務一式	17,455,208

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
北池災害復旧工事 ほか22件	片田志袋町ほか15町	ため池 L=14m	83,678,155

##### 《事業評価》

農業用施設の復旧工事等を行うことにより、被災箇所の早期復旧に努めた。

#### (2) 補修用原材料支給事業

##### 《事業概要》

地元自治会・土地改良区等が自ら実施する農業用施設の復旧・補修について、生コンクリート・碎石・U字溝等の原材料を支給した。

区分	支給先	内容	金額(円)
補修用原材料支給	分部ほか17件	U字溝、塩ビ管等支給	1,049,562

### 《事業評価》

農業用施設の復旧・補修に係る原材料を支給することにより、被災箇所の復旧経費の軽減及び早期復旧に努めた。

#### (3) 施設修繕

### 《事業概要》

小規模な農業用施設災害復旧修繕の対応を行った。

補助工種	件数(件)	金額(円)
農業水路修繕	199	64,993,707
農道災害復旧修繕	29	10,612,939
ため池修繕等	23	9,027,051

### 《事業評価》

小規模な農業用施設の災害復旧修繕することで、被災箇所の早期復旧に努めた。

担当 農業基盤整備課

款 11 災害復旧費 項 1 農林水産業施設災害復旧費 目 3 林業施設災害復旧費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
195,410,707 円	120,456,000 円	円	2,700,000 円	48,250 円	72,206,457 円

## 2 林業施設災害復旧事業

予算現額 327,315,890 円  
事業決算額 195,410,707 円  
予算執行率 59.7 %

### 《事業概要》

平成23年8月29日から9月7日に発生した台風12号、平成24年6月13日から20日に発生した台風4号及び平成24年9月21日から10月1日に発生した台風17号により被災した林業施設の早期復旧を図るため、災害復旧工事等を実施するとともに、生コンクリート・碎石等を原材料として地元へ支給することにより林業施設の復旧・補修を行った。

なお、執行率が59.7%となった主な要因は、林道施設災害復旧事業（事業費：86,367,000円）を平成25年度へ繰越したことによる。

#### (1) 林道小規模災害復旧事業

### 《事業概要》

崩落土の除去、路面の整正等小規模な災害について早急な対策を行った。

区分	箇所数	内容	金額(円)
施設修繕料	91箇所	路側・法面等修繕	35,664,095
機械借上料	29箇所	法面崩落土撤去等	9,661,170
補修用原材料支給	17箇所	生コンクリート等支給	3,175,955

### 《事業評価》

小規模災害に対する迅速な対応を行い、施設の原形復旧と被害の拡大を防止することができた。

(2) 災害査定用設計書作成業務  
《 事業概要 》

林道災害査定における設計書作成業務を委託した。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
林道災害復旧事業に伴う設計等業務業務委託	美里町、芸濃町、安濃町	災害復旧測量及び設計12件	8,128,050

《 事業評価 》

災害査定において必要となる設計書等の作成業務を委託する事で、復旧事業の迅速な対応ができた。

(3) 林道災害復旧工事

《 事業概要 》

国庫補助事業により林道災害復旧工事を実施した。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
林道水谷岳の洞線災害復旧工事	美杉町石名原	路側・返し復旧 延長 130.0m	16,397,728
林道帶子岳の洞線及び林道帶子岳の洞支線災害復旧工事	美杉町石名原	法面復旧 延長 109.0m	11,916,657
林道杉線災害復旧工事	美杉町川上	法面復旧 延長 143.0m	79,290,235
林道小瀬戸線災害復旧工事	美杉町川上	路側・返し復旧 延長 96.0m	4,815,387
林道瀬戸線災害復旧工事	美里町桂畠	路側復旧 延長 33.0m	12,176,691
林道経ヶ峰線災害復旧工事	芸濃町河内	路側・路面復旧 延長 402.0m	7,400,000
林道五嶺線災害復旧工事	芸濃町河内	路側復旧 延長 28.0m	2,000,000
林道袖ノ木越線災害復旧工事	芸濃町河内	路側復旧 延長 19.0m	800,000
林道松尾線災害復旧工事	美里町桂畠	路側復旧 延長 11.0m	500,000
林道山出線災害復旧工事	安濃町草生	路側復旧 延長 15.0m	1,300,000

《 事業評価 》

災害復旧事業により林産物の搬出等に停滞が生じることがないよう早急な復旧に努めた。

担当 林業振興室

## 款 11 災害復旧費

## 項 2 公共土木施設災害復旧費

## 目 1 道路橋りょう災害復旧費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
281,425,068 円	117,660,543 円	円	52,350,000 円	円	111,414,525 円

## 2 道路橋りょう災害復旧事業

予算現額 384,047,433 円  
 事業決算額 281,425,068 円  
 予算執行率 73.3 %

## 《事業概要》

平成23年7月17日から20日に発生した台風6号、平成23年8月29日から9月7日に発生した台風12号、平成23年9月15日から23日に発生した台風15号、平成24年6月13日から20日に発生した台風4号及び平成24年9月21日から10月1日に発生した台風17号の豪雨により発生した、道路施設における災害箇所の復旧工事を行った。

なお、執行率が73.3%となった主な要因は、道路橋りょう災害復旧事業（事業費：58,390,000円）を平成25年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
市道下之世古1号線災害復旧工事	一志町波瀬	復旧延長 10.4m ブロック積 41m <sup>3</sup> 舗装 4m <sup>2</sup>	5,427,450
市道笠取線災害復旧工事	美里町桂畑	復旧延長 91.4m 落石防止網 660m <sup>2</sup> ブロック積 63m <sup>2</sup>	14,185,449
市道払戸高屋線災害復旧工事	美杉町石名原	復旧延長 75.0m ブロック積 170m <sup>3</sup> R C床板橋 一式	19,515,770
市道坂本線（岩倉橋）災害復旧工事	美杉町川上	復旧延長 13.5m P C橋 一式 橋台 一式	16,230,306

## 《事業評価》

被災箇所60箇所のうち38箇所については、復旧工事を行ったことにより、従前どおり道路通行の確保ができ、道路利用者の安全性の確保に寄与することができた。年度内完成が見込めない22箇所については、翌年度に繰越となった。

担当 建設整備課  
 津北工事事務所  
 津南工事事務所

## 款 11 災害復旧費

## 項 2 公共土木施設災害復旧費

## 目 2 河川災害復旧費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
226,266,722 円	120,944,738 円	円	41,750,000 円		63,571,984 円

## 2 河川災害復旧事業

予算現額	415,725,567 円
事業決算額	226,266,722 円
予算執行率	54.4 %

## 《事業概要》

平成23年7月17日から20日に発生した台風6号、平成23年8月29日から9月7日に発生した台風12号、平成23年9月15日から23日に発生した台風15号、平成24年6月13日から20日に発生した台風4号及び平成24年9月21日から10月1日に発生した台風17号の豪雨により発生した、美杉地域を中心とした河川施設における災害箇所の復旧工事を行った。

なお、執行率が54.4%となった主な要因は、河川災害復旧事業（事業費：161,900,000円）を平成25年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
普通河川志やはみ川災害復旧工事	美杉町八知	復旧延長 48.0m ブロック積 188m <sup>2</sup> 石積 22m <sup>2</sup>	10,730,862
準用河川野谷川災害復旧工事	美杉町川上	復旧延長 47.4m ブロック積 146m <sup>2</sup> かご護岸 51m <sup>2</sup>	10,305,632
準用河川美濃屋川災害復旧工事	安濃町安濃	復旧延長 16.4m ブロック積 77m <sup>2</sup>	2,437,674

## 《事業評価》

被災箇所73箇所のうち28箇所については、復旧工事を行ったことにより、従前どおり河川護岸の確保ができ、周辺住民の安全性の確保に寄与することができた。年度内完成が見込めない45箇所については、翌年度に繰越となった。

担当 建設整備課  
津北工事事務所  
津南工事事務所

## 款 11 災害復旧費

## 項 4 厚生労働施設災害復旧費

## 目 1 衛生施設災害復旧費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
8,091,744 円	円	円	円	円	8,091,744 円

## 1 簡易水道施設災害復旧事業

予算現額	8,368,000 円
事業決算額	8,091,744 円
予算執行率	96.7 %

## 《事業概要》

平成23年8月29日から9月7日に発生した台風12号により被災した伊勢地簡易水道導水施設及び配水施設の災害復旧事業を行うため、簡易水道事業特別会計へ繰出を行った。

《事業評価》

繰出を行うことにより、施設の安全性の確保に寄与することができた。

担当 環境政策課

款 13 諸支出金

項 2 貸付金

目 1 共済組合貸付金

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
57,000,000 円	円	円	円	57,000,000 円	円

1 職員福利厚生事業

予算現額 57,000,000 円  
事業決算額 57,000,000 円  
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

市役所現庁舎建設に伴い、昭和53年1月に職員共済組合福利厚生施設（職員駐車場）が建設され、本市が昭和54年から貸付を行っている。駐車場建設資金（貸付金）は、職員共済組合から年度末に職員の駐車場使用料をもって償還され、平成24年度末の償還累計は134,004千円となっており、償還完了は平成37年度の予定となっている。

《 事業評価 》

職員共済組合の庁舎等事業特別会計（駐車場会計）は、職員の駐車場使用料等により健全に運営されており、本市に対して当初計画どおり償還がなされている。

担当 人事課